

# 「不整脈」について教えてください



私は、会社の健康管理を担当している保健師です。現在58歳の男性社員の件でお伺いします。30歳ごろから「不整脈」を自覚しており、50歳ごろに、ホルター心電図や造影剤検査などの精密検査を受けましたが、「心筋梗塞」はなく、原因は不明とのこと。治療は不要」と言われたそうです。ただずっと不整脈の自覚症状は続いており、安静時にも感じるということで相談を受けました。どのように対処したらよいでしょうか。



心臓が規則正しく伸び縮みして血液を送り出すために、心臓の上部の部屋（心房）から下の部屋（心室）に向かって電気が流れています。この電気の流れが正常ではない状態が「不整脈」と呼ばれるもので、たくさん種類があります。男性社員の方は、不整脈を自覚するのとこのことです。脈の乱れを感じる場合があります。とこのことで話を進めさせていただきます。

さまざまな不整脈のうち、一部のものは

脈の乱れを自覚します。代表的なのは「期外収縮」「心房細動」などです。心房細動であれば、「脳梗塞」の予防策が必要になることが多いので、循環器専門医の診療を受けることをお勧めします。ここからは最も一般的な期外収縮について解説します。

期外収縮は、期待外れに早いタイミングで電気が流れる不整脈です。重要なことは、心臓の「部品」、例えば心臓の「筋肉」、逆流を防ぐ「弁膜」、心臓の表面を走る「冠動脈」などの異常を伴っている期外収縮と、明らかかな部品の異常を伴っていない期外収縮を区別することです。部品の異常を伴った期外収縮では、部品の異常を修正する治療（心臓を薬にさせるような治療）が重要です。例えば、筋肉が弱っていればそれを保護する薬剤を使いますし、弁膜の異常が強ければ外科的な弁置換術を行ったりします。

一方、明らかかな部品の異常を伴っていない期外収縮は、ほとんどの場合、命には関わりません。ですから、困った症状を伴っていないければ基本的に放置してかまいません。

さて、ご相談の患者さんは、精密検査を受けたうえで異常がないと言われたとのことですので、明らかかな異常がない心臓に起こった不整脈ということになるかと思えます。そしてそれが期外収縮であれば、基本的には放置してよいものと考えてよいでしょう。命に関わりがないということがわかっていても生活に支障が出るほど気にならなるといのであれば、まずは内服薬で症状の軽減を図ります。いくつかの種類を試してみても困った症状が残るという場合は、不整脈の種類によっては発生源を灼くカテテル治療も考えます。

アルコール摂取、喫煙、精神的ストレスだけで不整脈が起こることはまれですが、もともとある不整脈を一層悪くする因子であるのは間違いありませんから、できるだけ避けるほうがよいでしょう。

## 循環器内科

奥山 裕司

国立病院機構大阪南医療センター  
循環器疾患センター部長



おくやま・ゆうじ  
1990年大阪大学医学部  
卒業。専門は循環器内科学、  
特に不整脈治療とカテ  
テル治療